

適用規格								
定 格	使用温度範囲	-55℃～85℃	保存温度範囲	-10℃～60℃ (注1)				
	電 圧	AC 50 V	使用湿度範囲	相対湿度 95%以下 (注2)				
	電 流	0.3 A	保存湿度範囲	40%～70% (注1)				
性 能								
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○	
	表示	目視にて確認する。				○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。		(注3) **mΩ以下		○	—	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		100 MΩ以上		○	—	
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—	
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 100.8 N 以下 引抜力 4.2 N 以上		○	—	
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。				○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上		○	—	
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル試験する。 (槽の移し変え時間は2～3分とする。)		③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以		○	—	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	塩水噴霧	濃度 5%の塩水、48 時間放置する。		接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以下		○	—	
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃、75±5%RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)						
※試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。								
	△の数	訂正記事		設計		検図		年月日
△								
備考				承認	MK. EZAKI	16.04.25		
注1. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。				検図	MK. EZAKI	16.04.25		
注2. 結露しないこと。				担当	MK. NAGATA	16.04.25		
注3. 接触抵抗値はスタックハイト11mmの場合、95mΩ以下となる。スタックハイトが1mm高くなる毎に、 接触抵抗規格値は5mmΩ高くなる。				製図	KT. AIZAWA	16.04.25		
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番		SLC-354342-03-00		
<b>HRS</b>	製品規格表			製品名		FX10-168IP-8PH(03)		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL608-0006-7-03		
							△	1/1